研究だより

令和７年６月２５日（水）
東久留米市立第十小学校
研究主任

今年度の校内研究について

本校では、昨年度より研究主題を「自らすすんで学ぼうとする児童の育成～ICT 機器を効果的に活用した指導方法の工夫～」としていました。一人一台パソコンが導入され、５ 年が過ぎようとしている中、十小では、どのようにして教育に ICT を取り入れ、取り組むべきか研究を重ねてきました。今年度は昨年度の研究を継承し、

「自分の学び方ですすんで学ぼうとする児童の育成～十小ハイブリッド型の学習の工夫～」

を研究主題に取り組んでいきます。ICT を一つの文房具としてとらえ、学習の中で児童自身が ICT（デジタル）を使うか紙媒体（アナログ）を使うか選択することで、児童が自らの学びを進めていけるのではないかと仮説を立てました。この研究主題に沿って、低・中・高学年の各ブロックで一本ずつ研究授業を行い、その成果を児童に還元していきます。

第１回研究授業 理科「空気と水の性質」 4年１組

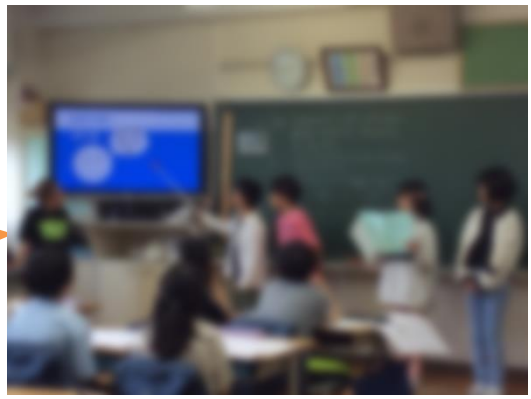
ねらい 空気をとじこめて力を加えると空気の体積は小さくなること、空気は体積が小さくなると圧し返す力が強くなることの理解を深める。

６月１１日（水）に、第１回目の研究授業が4年１組で行われました。中学年以下の工夫を行い授業実践を行いました。

・デジタルとアナログを自分たちで選択した発表形態の工夫

とじこめた空気に力を加える様子について劇化するグループやパワーポイントで発表するグループ、
ポスターを書いて発表するグループと様々なグループがありました。
発表方法を選択させることで児童はインプットした知識をアウトプットするための表現を考え、
学習内容をより理解しました。

おし込められた空気の様子を劇化して表現しました。表情から空気が強く圧しつけられている様子を表しました。



タブレットを用いてパワーポイントでまとめました。画像を用いて空気が圧しつけられている様子を表現し、説明を加えながら表しました。

講師の先生からは、「子供たちが選択することにより、学習をより深めていこうとする意欲が強く伝わりました。」と指導講評をいただきました。今回の講師は【HILLOCK】というオルタナティブスクールでご活躍されている蓑手章吾先生です。先生からは授業について以外にも、何のための学習なのか、目標と方法を分けることで授業づくりを構造化できることを教えていただきました。その際に、本校が研究しているデジタルとアナログの選択ができる児童は学びの幅を広げることができ、より深い学びを達成できるのではないかと御指導いただきました。このことを生かし、今後も第十小学校の授業が子供たちにとって分かりやすく、学びが多い時間となるよう教員一同精進して参ります。